

## Excel入力システム「ezFront」を利用して、経費データ入力ミスを“0”に。 ～入力ミスの軽減だけでなくSAP ERPへの入力工数の大幅削減～

化学メーカーM社は1990年代半ばにSAP ERPシステムを導入しました。同社の経理部門では「経費入力ミス“0”」という課題があり、SAPへの経費入力をExcel利用で自動化できないだろうか？と相談を受けました。

### 課題

課題をまとめると以下の2つでした。

- ① 経費の申請～承認を紙ベースでしているため、申請者の記入ミスや計算間違いのチェックに時間がかかる。
- ② SAP への会計伝票登録は経理担当が大量の申請書からの転記を行っているため、入力ミスが発生する。SAP への入力箇所が1画面に収まっていない、勘定コードによって入力箇所が変わってくる等が入力ミスを誘発している。

日付	場所	事由	金額	備考	金額	金額
1月28日	JR新幹線	東京	10,100	新大塚	10,100	10,100
1月28日	(横浜)	新大塚	10,100	東京	10,100	10,100
1月28日	JR新幹線	新大塚	10,100	新大塚	10,100	10,100
1月28日	(横浜)	新大塚	10,100	新大塚	10,100	10,100

### IT部門では

これまでSAPとのシステム間データ入出力は、一番手っ取り早いアドオンプログラム作成での対応でした。しかし20年近い運用の結果、アドオンプログラムの数が増え続け、担当者も変わっていく内に、プログラム管理や修正工数が馬鹿にならないため、IT部門では経費入力用に更なるアドオン開発は避けたいと考えていました。2度のSAPバージョンアップの際に、アドオンプログラムの影響調査や修正の費用が予想以上にかかってしまったこともパッケージ標準機能を活用したシステム連携を模索するきっかけになっています。

### 導入

ネットでの「SAP標準インターフェース」検索で当社のサイトを発見され、連絡をいただきました。最初の打ち合わせで当社にお越しいただいた際に、「ezFront」を利用した会計伝票登録のデモをご覧いただき、テンプレートによる短期間導入が可能という点と、会計登録だけでなく、他の伝票やマスタ登録にも使えアドオンプログラムを作らなくてよいという点を評価いただき採用が決定されました。

導入期間は3週間弱でした。

要件は固まっていたので、実装設計からスタートし、初回の打ち合わせで、入力するExcelのレイアウトや会計伝票登録パターン毎のチェック項目など、アプリケーション仕様がほぼ確定しました。財務担当の方には実際の入力パターン別のテストデータの作成をしていただきました。

帳簿	伝票番号	発注日	発注元	伝票種別	金額	金額	金額
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	実費 ファイル転入	4,000	4,000	4,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001010	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001020	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001030	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001040	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001050	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001060	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001070	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001080	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001090	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001100	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001110	2,000	2,000	2,000
40	2018/1/2	2018/1/31	0001	40 7001120	2,000	2,000	2,000

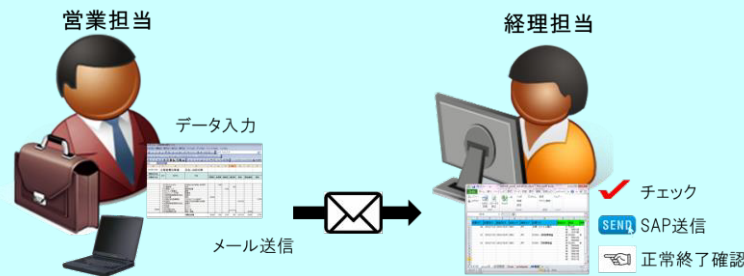
最初の1週間で、以下の実装作業が完了しました。

- Excel 側のレイアウト調整とチェック処理、ユーザ要望機能の取り込み
- SAP 開発機への標準インターフェースカスタマイズ(パラメータ設定)
- SAP との通信を担う ezFront のアダプタ部分の通信定義と Excel 連携

2週目の打ち合わせ時には、初回打ち合わせで決定したExcelレイアウトによる数パターンの伝票入力デモを見ながら、レイアウトの微調整とユーザアプリケーション機能の確認を行い、翌週初めには経理部門長からの稼働承認一発OKが出ました。(経理部門の「経費入力ミス“0”」を解決)

#### | 処理の流れ

必要項目だけに絞られたシートに申請者が入力したものを、メール添付で経理担当に送信します。経理担当は、Excel関数を利用して別シートになっているezFront用シートでチェック処理をして、SAPへ送信し、処理結果を確認します。(紙による記入ミスとSAP入力ミスを解消)



ezFrontのテンプレートには、受注登録・出荷実績入力・請求書出力が搭載されています。テンプレートを利用すれば、SAPとの連携処理が理解しやすく、ユーザ固有処理の追加だけで短期間かつスムーズに実装できます。

#### | 今後

今回は経理部門による会計伝票登録でしたが、無事稼働した時は「製造部門による品目やBOM登録、営業部門による受注登録などにも使えるな。」「Excelベースだから、BIツールで表示した結果を修正して、SAPへ入力できるかも！」などなど、次の効率化を目指して目を輝かせていらっしゃいました。

## クレスコ・イー・ソリューション株式会社

〒104-0033  
東京都中央区新川2-9-11 PMO八丁堀新川  
TEL : 03-5440-9551  
URL : <https://www.cresco-es.co.jp/>

※SAP、SAPロゴ、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。